

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)3月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第93号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy
Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて [検索](#)

【Facebook】<https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

今年も飛躍の年に

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

11月に実施の「カンボジアふれあいの旅」のみシエムリアップから入国するため、ベトナム経由のトランジットを予定している。

3月8日～14日に実施する第35回「カンボジアふれあいの旅」は、

今年も息切れしない限り、カンボジア訪問を隔月に予定している。幸い昨年9月より、成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航し、トランジットのわずらわしさから解放された。

一部参加者含む16人程の参加申し込みを頂いた。一人でも多くの会員さんをカンボジアにお連れし、ありのままの姿を見ることが認識を深めてもらいたいと願う。カンボジアの貧しい子どもたち



ブランコで遊ぶ子どもたち



学用品を寄贈

1月19日～23日、「味の素グループ労働組合」(東京都中央区京橋)の皆さん(12人)がカンボジアを訪問、本会の仲介により、カンボジアの5つの小学校に遊具を寄贈した。

21日には本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、学用品を寄贈して、子どもたちとサッカーをしたり折り紙をして交流した。

味の素グループ労働組合が 遊具と学用品を寄贈

児童養護施設「夢ホーム」の運営は、今年で9年目を迎える。小規模施設ではあるが、本会の体力に応じた運営を心掛けている。現在15人の子どもたちが暮らし、近隣の学校へ通っている。運営上の課題もあり、当面15人の定数を守っていききたい。小学校などに校舎・井戸・トイレ棟・遊具などの構造物を寄贈する活動も予定している。こうした構造物の寄贈が、その後の交流のきっかけになれば幸いだ。



今年も住民や子どもたちに寄り添い活動します

お年玉募金への協力 ありがとうございました

本会では、毎年12月～1月に「お年玉募金」として、特別にご協力をお願いしておりますが、今年も沢山の浄財を頂戴いたしました。ご報告のとおり、今年は夢ホームの子どもたちのため、自転車・制服・衣類・靴などを購入させて頂き、残金は「夢ホーム運営基金」に充当いたしました。皆様のあたたかいご協力を感謝申し上げます。



新しい制服で通学しています

第15回定期総会のご案内

第15回定期総会を開催いたします。会員の皆様には別途通知いたしますので、ご出席お願い申し上げます。

日時:2017年3月26日(日) 午後2時～4時
会場:練馬区立練馬文化センター・3F会議室
議題:2016年度事業報告、及び決算
2017年度事業計画、及び決算
その他懸案事項
その他:スクリーンにて現地活動を紹介

カンボジアフェスティバル2017

開催日時=5月3日(水)、4日(木)
各日10時～19時

当会
入場料
無料

開催場所=代々木公園けやき並木(東京都渋谷区神2-1)
飲食店、物販、カンボジア語講座、伝統舞踊、ファッションショーなど。本会のブースもあります。

広報活動(チラシ配布など)をお手伝いして下さるボランティアさんを募集中!

※詳細は事務局までお問合せ下さい。



昨年度の様子

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめちゃう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】:子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】:年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地にかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】:最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】:里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。現在10歳～18歳の15人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

■ 2人の男の子が新しく入園

1月、2人の男の子がトウボンクモム県及びコンボンスプー県から新入園した。2人ともに小学生で、夢ホームに近い「タメイ小学校」に転校し、通学を始めた。



ソット・ピアラター君(右)と
ノウ・ジャンター君(左)

■ 子ども数が15人に

一昨年、7人の高校生が退園したため、子どもが一時的に減少したが、1月に2人増え、これで15人となった。経営的課題もあるため、当面15人を上限に運営する方針。子どもたちを世話するスタッフは3人。



15人の子どもたち

■ 草刈り機と自転車をプレゼント

毎年この時期に必要な品物を寄贈してくれる根谷崎百合子さん(神奈川県藤沢市、里親会員)と米倉貴美子さん(神奈川県藤沢市、会員)から、今年は草刈り機と自転車が贈られた。感謝!



草を刈るキム・パンニャー君

■ 衣装ケースをプレゼント

最近入園した4人の子どものため、三林けい子さん(新潟市、理事・里親会員)が衣装ケースを寄贈してくれた。子どもたちは早速、持っている衣類を保管していた。



ありがとうございました!

■ ゲストハウスの周りに柵を製作

保父さんと男の子たちが共同し、日本人が宿泊するゲストハウスの周辺に柵が完成した。周囲の芝生もきれいに刈られ、園内がとてもきれいになった。



完成した木製の柵

カンボジアの小学校に3つの井戸が完成

1月は、カンボジアの小学校に3つの井戸が完成、根岸理事長らが出席して贈呈式を行った。

3つの井戸すべてにきれいな水が出て、子どもたちはこぞって水を飲んだり顔を洗っていた。

3校の中で最も遠かったのが「ロッド小学校」。加えて道が悪く、雨が降れば道路が閉鎖になってしまうところ、幸い晴天だったので無事贈呈式を行うことができた。



ロッド小学校に完成した井戸

1月に完成した井戸の内訳

	ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
①	寄贈:長崎県 武藤和義・康代 誕生記念 翁祖煌 Yung AkiLa 2016.11.4	ブレイカオ小学校	77人	コンボンチャム県
②	根谷崎百合子 様	ブノンビシア小学校	100人	コンボンチャム県
③	寄贈:長崎県 武藤和義・康代 誕生記念 海津誠人 2016.12.12	ロッド小学校	354人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年～)＝294基(1月現在)

デチョーアンカイン 鈴木小学校を訪問

1月12日、昨年5月に逝去した鈴木千雄さん(愛知県あま市)が資金援助し、7月に校舎が完成した「デチョーアンカイン鈴木小学校」(カンポット県チューク郡、生徒数180人)を訪問した。訪問の目的は3つ。一つ目は、鈴木さんと旅仲間だった稲吉忠さん(和歌山県在住、里親会員)が訪問を希望したこと。二つ目は、鈴木さんの友人、松井志津代さん(三重県在住)が遊具を寄贈してくれたため、その贈呈式を行うこと。三つめは、昨年11月に遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市在住、会員)が撮ってくれたクラス別の集合写真を届けること。

訪問したのは根岸理事長他2人。1月の気候は朝晩涼しく、高原の風がさわやかだった。



訪問してくれた皆さん



すべり台で遊ぶ子どもたち

遠藤健介さんが夢ホームを訪問

12月28日、遠藤健介さん(愛知県あま市、会員)が単独で夢ホームを訪問、子どもたちと交流の時間を持った。

今回は書道教室を開き、子どもたちに教えたり、サッカーをしてひと時を楽しんだ。



書道教室を開いた

行く先々で 飴をプレゼント

岩橋京子さん(奈良県生駒市、会員)から、カンボジアの子どもたちのため、渡航の度に袋入り飴が沢山寄贈され、村の子どもたちの大きな喜びになっている。

今回も、里子へのプレゼントを届ける際に沢山の飴を持参、行く先々で子どもたちに差し上げた。カンボジアの子どもたちは飴が大好きだ。



沢山の子どもたちに飴を届けた

パンクラッチ小学校 完成間近

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)と「新津ライオンズクラブ」による資金協力のもと、昨年11月に建設工事を開始した「パンクラッチ小学校」(ブレイベン県パンクラッチ村)の建設工事がほぼ終了、細かい修正工事を残すのみとなった。

同会の石川代表を始め数名が5月25日～28日にカンボジアを訪問、5月26日に校舎の竣工式(贈呈式)を行うことが決まった。



ほぼ完成した小学校の校舎

現地の車が初の故障

現地活動の足、ニッサンのピックアップカーを新車で購入し、丸3年が経過した。走行距離は年間3万キロを超え、既に10万キロに達した。

そろそろ、と思っていた矢先の1月12日、ついに初の故障が発生、途中から修理工場まで牽引してもらった。原因はクラッチ板の磨耗と分かり、修理後は快調に走り続けている。大事に乗りたいもの。



レンタカーのパンにけん引してもらった

カンボジア バレーボール大会

カンボジア第一の人気スポーツはもちろんサッカーだが、第二の人気スポーツといえばバレーボールだ。地方の小学校を訪問したら、郡内のバレーボール大会を開催していた。小学生なのにネットの高さは大人と同じ、各小学校で、背の高い子が選抜されているの



子どものお坊様増加!

最近よく目にするのが子どものお坊様。先日プノンペン市内で、トラックに乗り移動する子どものお坊様集団を見かけた。子どもがお坊様になった理由は貧困からの脱出もあるが、純粋に学びたい気持ちもあるようだ。



きれいな蓮畑

車で地方を回っていたら、見事な蓮畑があった。一面きれいな花が咲き誇り、お釈迦様がひよっこり出てきそうな雰囲気だった。蓮の実、道路端で沢山売っている。



クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、かつ貧しい家庭にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の子どもたちを教育支援している。

1月9日と10日、5人の里子を教育支援する稲吉忠さん(三重県、里親会員)とともに、里子の家を訪ねた。5人の里子の中で、プノンペンから最も遠い村に住んでいる。片道4時間かけて訪問した。

里子たちは、里親さんからお米な

どのプレゼントを頂き、喜んでいました。1月16日と17日、13人の里子に、里親さんから預かったプレゼントを届けた。回り切れなかったプレゼントは、後から現地スタッフが届けることにしている。

(根岸記)



里子を訪ねた稲吉さん

教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へプレゼントを届ける方法は2つです

①現地(カンボジア)購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

■ 自転車(大人用・中古品)	8,000円
■ お米(50kg)	5,000円
■ Tシャツ・サンダルセット (Tシャツ2枚&ぞうり1足)	2,000円
■ 本セット (絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
■ お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円

②日本から持参

現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

投稿 薬剤師を目指して「ハエムトウ・ソックミン」

日本の皆さん、私はハエムトウ・ソックミン、18歳です。

以前、会報(第91号)で高校生活ぶりを載せてもらいましたが、昨年8月に高校を卒業、12月には大学に合格、今はプノンペン市内にある大学の寮で、3人の仲間と一緒に宿舍生活を送っています。大学の資金を稼ぐため、アルバイトもしています。

大学では、薬学を専攻しています。薬剤師の資格を取り、薬屋を開店するのが夢です。

5歳の時、交通事故で両親を亡くした私は、祖父母に育てられましたが、生活が苦しいため、小学生



の時から里親さんのお世話になりました。おかげ様でここまで支えられ、今は自立の第歩を踏み出すことができました。これからも、里親さんに恩返しできるよう、頑張ります。

カンボジアの子どもたち写真展を開催



会場の様子

11月30日(12月15日、水沢信用金庫(岩手県奥州市)で「カンボジアの子どもたち写真展」を開催した。地元及び川英博理事が全面的に協力してくれた。

カンボジアの子どもたちやプノンペンの町の様子など、カンボジアの現状を伝える約40点の写真展示、大勢の奥州市民がご覧になった。

平田小学校とタメイ小学校の絵画交流始まる



生徒に話す及川理事

日本とカンボジア両国の、子どもたちの絵画を通じた相互理解を願う活動が始まった。夢ホームに近い「タメイ小学校」の生徒が描いた12点を、橋渡し役の及川英博理事が平田小学校(岩手県釜石市)に届けた。同校を訪れた及川理事は2年生の教室で、「絵には素晴らしい力がある。教えた日本の子を書きためてほしい」と呼びかけた。

第1回「カンボジアセミナー」を開催

第1回「カンボジアセミナー」を12月23日(祝日)、「JICA地球ひろば」(東京都新宿区市谷本村町)のセミナールームで開催、35人が集った。セミナー内容は3つ。まず、根岸理事長がパワーポイントを使い、本会の現地活動を報告した。

次に、在日本カンボジア王国大使館(東京都港区赤坂)のチャウ・ソティア参事官が「カンボジアの現状」について講演。

ラストは、カンボジア人留学生、ノップ・ヴィサルさんによる「カンボジア語講座」。質疑応答も活発で、バラエティに富み有意義な3時間だった。



講演するチャウ・ソティア参事官

また、会場のロビーでは、約2週間にわたり写真展「カンボジアの子どもたち」を開催、セミナーに花を添えた。

会員懇親会(忘年会)を開催

12月10日、レストラン「サンアロハ」(横浜市)におき、恒例になった会員懇親会(忘年会)を開催、ご多忙の中15人の会員さんが集った。

遠くは宮城県、愛知県からも参加、上山陽子さん(奈良県、里親会員)から、名物の柿の葉寿司が届いた。

今年も12月第2土曜日(9日)に実施予定。



投稿

アンコールワット国際ハーフマラソンに参加しました

三林けい子

12月4日、シエムリアップにて開催された「第21回アンコールワット国際ハーフマラソン」に参加した。

この大会、発起人は日本人の有森裕子さん、日本とカンボジアの平和を願う有志で始められた。昨年、有森さんと夕食を共にした際、カンボジアでのボランティア活動の話題になり、「マラソンに出ますよ」と言っていました。それはランナーである夫の出場のことであったが、せっかくなので私も3キロの部に参加することにしました。

また、猫ひろし選手は昨年2位、今回は4位だった。猫さんはゴールした後も観客からの撮影のリクエストに応じていた、私の声にも気づいてくれ振り向いてくれた。この大会に参加するにあたり、鈴木春男さん(シエムリアップ在住、里親会員)から大会申込みの一切を手伝っていただいた。鈴木さんご家族経営の「ゲストハウスかぐや姫」に宿泊、滞在中の全てを支えていただいたことにも感謝したい。

(新潟市、理事・里親会員)



夫婦で完走しました



鈴木春男さんの家族とともに

本会は在日本カンボジア王国大使館(東京都港区赤坂)と連携し、活動しています。

特殊詐欺被害者の8割が65歳以上!

カンボジアの地方へ行くと、小・中学校から校舎建設の要望が絶えない。全国的に建て替えの時期なのかもしれないが、最大の要因は子ども人口の増加だ。

産業の発展も関係しているようだ。例えば、カンボジアではサトウキビ畑が多いが、従事する作業員が畑の近くに移住するとそこに新たな村ができ、子どもができる学校がほしいということになる。

カンボジアは日本と違って、電車やバスが発達していない。地方の移動手段はバイクタクシーが中心だが、子どもたちの通学手段としては高価だ。通常は自転車か徒歩になるのだが、一年中暑い国なので徒歩にも限界がある。結局退学してしまい、家事の手伝いや工場に就職してしまう。

こうした被害を防止するため、カンボジア政府は一つの村に一つの小学校を目標にするという。しかしながら財源が乏しいため、国際支援を求めざるを得ないのが実情だ。警察庁の発表によれば、振り込め詐欺など特殊詐欺の昨年1年間の被害額は約406億3千万円だったそうだ。2年連続で減少しているが、4年続けて400億円を超えており、依然深刻な状況が続いている。

被害件数は1万4151件で6年連続の増加、被害者の8割近くを

65歳以上が占めた。

この数字を見るたびに、これだけあればカンボジアでいくつの小学校ができるかな?と思ってしまう。ざっくり計算すると、1棟500万円として、8千棟の校舎ができる。井戸なら1基20万円として計算すると、とてもない数の井戸を掘ることができる。

詐欺に引つかからないようにすることが大事だが、資産が増えるという甘言に騙され、大切な老後資金を失うケースが多いと聞く。いい年をして欲をかいいた結果だ。人はいつか死ぬが、あの世に財産を持っていけないのなら、生きていうちに世のため人のため、有用に使いたいものだ。

(公式ブログ「メコンの風に吹かれて」より)



日本人が寄贈した校舎で学ぶ子どもたち

トウツサナー・カンボジア

※トウツサナーとは観察するという意味です

日本の花は桜と菊だが、カンボジアの国花といえば「プルンメリア」がその一つ。プルンペン市内の大通りに、一年中咲いている。

カンボジア舞踊の「アプサラ」を踊るときに、耳や頭髮につけて踊る。乾燥させて、お茶の葉としても使用できる。

「プルンメリア」はラオスの国花でもあるようだ。



カンボジアを代表する花(国花)



Interview ノップ・ヴィサルさん 在日カンボジア留学生協会(CSAJ)の会長に就任

明治大学留学生のノップ・ヴィサルさん(31)は、学業の傍ら本会のアドヴァイザーとして活動しているが、1月より1年間、「在日カンボジア留学生協会」(東京都台東区・会員数=500人)の会長に就任した。

同協会は5つの支部を持つ全国組織で、カンボジア留学生の世話をしたり、各種イベントの開催を通じ、カンボジアの文化を広める役を果たしている。

ノップさんは留学生として7年前に来日、明治大学に在籍している。故郷のシェムリアップでは日本語のガイドをしていたそうだ。

現在はカンボジア大使館にも勤務、東奔西走の多忙な日々を過ごしている。いつも元氣なノップ・ヴィサルさん



《夢ホーム》第30回鑄造によるアクセサリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は、隔月にカンボジアを訪問し、夢ホームや近所の子どもたちを対象に、アクセサリー作りの技術講習会を開いている。

第30回講習会を、1月30日〜2月1日に実施した。

前回同様、今回も、一人ひとりがそれぞれの進み方に応じて作品を作っている。

次の講習会を、3月28日〜4月1日に予定している。



講習会の様子

活動に参加しませんか

ボランティアとして
学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会員を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割も可)です。

会員として

- ・個人会員(年額105千円)
- ・法人会員(年額101万円)
- ・教育里親会員

(年額里子1人につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。

〈郵便振替口座名〉
21世紀のカンボジアを支援する会
(口座番号)
00130000160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へご一報ください。

※郵貯銀行の自動引き落としを希望の方は事務局へご一報ください。

新しい仲間が増えました

2016年12月〜2017年1月の2カ月間で、8名の教育里親会員様、1名の個人会員様、1団体の法人会員様が新規に加入してくださいました。ご支援ありがとうございました。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

認定NPO法人資格を取得するため、東京都庁による監査が1月26日に実施されましたが、現時点では不適合という結論に至りませんでした。実力不足を痛感致しました。今後は認定NPO法人としての体制を確立し、2年後に再申請することに致しました。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

第35回カンボジアふれあいの旅は、一部参加者含む16人が3月8日に出発します。(帰国は14日)旅の安全をお祈りください。

3月〜4月の予定

- 会報「アンコールワット」3月1日付第93号発行
- 第36回カンボジアふれあいの旅(3月8日〜14日)
- 2017年度第1回理事会(3月26日、練馬区立練馬文化センター・会議室)
- 第15回定期総会(3月26日、練馬区立練馬文化センター・会議室)

成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航しました

「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・井戸の贈呈式、学用品配布など

第36回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもたちとの交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。

旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。

募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、会員以外の方は、事前に会員登録(年間一口5,000円)が必要になります。

【旅行期間】2017年7月6日(木)〜7月12日(水)(5泊7日)

【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)
先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

【滞在ホテル】ミトホテル(プノンペン)5泊

【利用空港】成田空港、関西空港、その他

【旅行日程】6日=成田空港から全日空の直行便でプノンペンへ(他空港からの出発も可能です)
7日=小学校を訪問、井戸の贈呈式に出席、学用品の配布
8日=教育支援する里子の家を訪問
9日=夢ホームを訪問・交流、マーケットで買い物(サッカー大会あり)
10日=終日自由行動
11日=プノンペン市内観光、午後6時頃ホテルチェックアウト→プノンペン国際空港から帰国の途へ(空港にての現地解散になります)
12日=午前、成田空港(その他の空港)

【旅行代金】12万円から13万円 *現地までの航空券代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。
*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*海外旅行保険は各自でおかけください。*カンボジア入国ビザを取得するため、現地空港で30ドルかかります。*アンコールワット日帰り観光ツアーはございません。(11月に実施いたします)

【締切日】2017年5月10日(水)



夢ホームを訪問します



里子の家を訪問します

■ お問い合わせ・申し込み
旅行企画☆NPO法人
21世紀のカンボジアを支援する会
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213